

令和6年度十勝管内教育研究所所員研修会 学びの部 研究発表

音更町教育研究所

～児童・生徒の学力の向上のために～

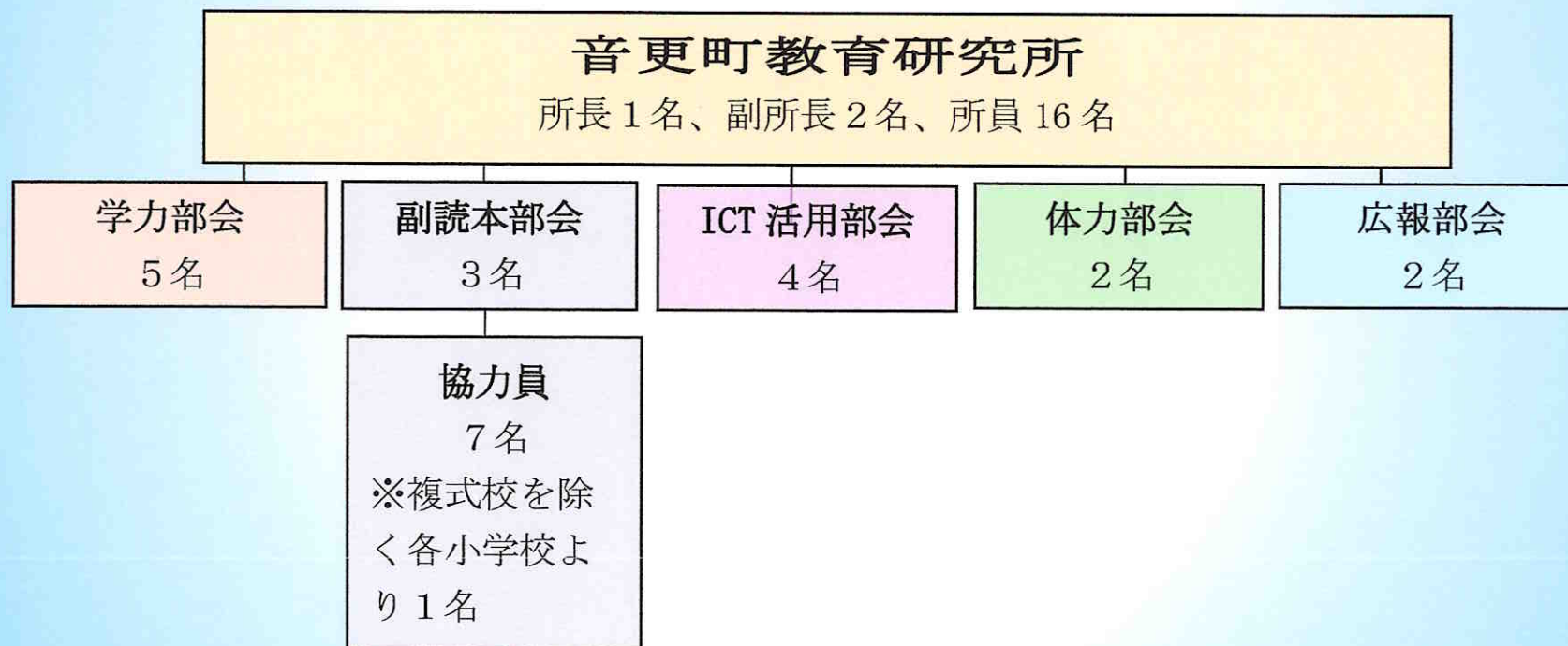
音更町立柳町小学校 竹本 良平

はじめに

音更町教育研究所では音更町の教育の充実・向上のために、各学校(小学校11校、中学校5校)より一人ずつ研究所員を派遣していただき、事業を推進している。

今回の発表では、本研究所の学力向上の取組を紹介することで、十勝管内の他町村研究所の活動推進の参考になればと思う。

音更町教育研究所 部会体制



音更町教育研究所 事業計画

1 指導力向上事業

2 音更町児童生徒実態分析事業

3 研修活性化事業

4 広報事業

音更町教育の充実・向上

1 指導力向上事業

(1) 健やかな体の育成【体力部会】

- ・児童生徒の体力の向上と運動習慣の確立に向けた指導者の指導力を図る
- ・体育科授業の充実と運動習慣の確立に向けた実践例を紹介

(2) 確かな学力の向上【ICT活用部会】

- ・ロイロノートの効果的活用による授業改革の方策を探る研修機会を提供
- ・各種コンテンツ及びデジタル教科書の活用実践から、次年度の購入計画の方向性を示す

2 音更町児童生徒実態分析事業

(1) 「音更町の子どもたちの学力」発刊【学力部会】

- ・標準学力調査の分析考察

(2) 「音更町の学力の傾向と改善のポイント」【学力部会】

- ・全国学力・学習状況調査結果の分析と考察

(3) 「音更町の子どもたちの体力と今後の取組」発刊【体力部会】

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析、授業改革に向けて

3 研修活性化事業

(1) 授業改革研修会【学力部会】

- ・外部講師を招へいし、子どもが回す授業の公開、研究協議

4 広報事業

(1) 広報事業【広報部会】

- ・所報「おとふけ」の発行 ～年2回(8月・2月)

音更町教育研究所 学力向上の取組

1 学力分析

2 ICT活用研修会

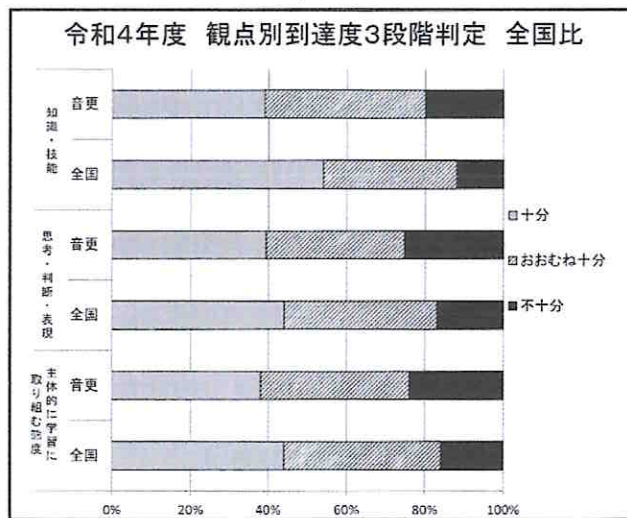
3 授業改革研修会

1 学力分析

(1) 標準学力調査の分析考察

・単なる分析・考察だけでなく、対策等も記載

1年生



全ての項目において全国値を下回る結果となっている。特に、「知識・技能」の「十分」の割合が15ポイント下回った。昨年度と比較すると、「主体的に学習に取り組む態度」の「十分」の割合が微増しており、授業改革により「知識・技能」「思考・判断・表現」の伸びにつながることを期待する。

考察

「知識・技能」では、「数の大小比較」や「減法を使う場面」、「2位数-1位数」の問題の通過率が全国を大きく下回っている。また、「思考・判断・表現」では、「減法を使う場面」や「減法の適用・式」の問題の通過率が全国を下回っており、「ひき算カード・答えが3になる」の無回答が多かった。1年生は数の概念を形成する大切な学年である。具体物の操作を繰り返したり、順序だてて操作させたりしながら、確実に定着させることが肝要となる。また文章問題では、文章内から必要な情報を読み取りそれを用いて立式する力を付けるための授業の工夫が求められる。

対策

【特に課題の見られる指導内容】

・いくつといくつ

「2と3で5!」「10は2と8!」など、5や10の合成分解は、その先で学習するたし算やひき算の学習を支える重要な学習となる。具体物を使って操作することはもちろん、ミニゲーム等を通して授業の始まりや終わりなどで楽しく学ぶことで確実な定着を目指していく。

① 指で10を作ろう

教師が「10は8と!」と指で数を示しながら元気な声で言う。子どもたちは答えの数を指で示しながら声に出して答える。慣れてくると補数が見えていることに気が付く子が出てくるので高速にしたり後ろを向いてやったりするとよい。

② ゆびゆびたし算

二人ペアで行う。「ゆびゆびたし算□(□→数字)を作ろう!」の掛け声に合わせて、適当に指を出す。教師の出したお題の数(1~20まで)とピッタリの指を出すことができればハイタッチをする。

(2) 学力・学習状況調査の分析考察 ・授業改善に向けたポイントを記載

改善のポイント

【国語】【算数】共通

問題形式に注目すると正答率の低かった問題や無回答率が高かった問題は、いずれも自分の考えを記述する問題であった。このことから、記述力を高めるために、以下の方法を参考に授業改革を図ることが望まれる。

○自分の考えを記述する機会を設ける

日々の学習の「振り返り」や「学んだことの要約」など、自分の言葉で表現する機会を積み重ねる指導が効果的である。初めは定型文を与えながら、段階を追って自由記述する力を育てていきたい。また、子どもの記述への価値付けも忘れずに行っていくことも大切である。授業のはじめや終わり、学級通信や Google クラスルーム等を活用しながら教師からのフィードバックを行うことで記述への意欲喚起へとつなげていくことが肝要である。

○語彙を増やす活動

自分の考えを表現する際には、言葉を知らなくてはならない。語彙を増やすために簡単なゲームやミニ作文などの活動に取り組むとよい。毎時間の帯活動に設定するなどし、継続的に取り組めるようにするとよい。

○読書の機会を増やす

文章読解や記述の力を高めるためには、より多くの言葉に触れる機会が大切である。朝読書や長期休業中の課題読書など読書の機会を設けることは効果的ではあるが、授業の中で読むことの楽しさや物語の面白さを実感させていくことを大切にしたい。

○学習の筋道を立てて考えていけるように、納得できたことを自分の言葉でまとめる

教科書のまとめをそのまま使うと、子どもたちに落ちていないことも多い。まとめる上で重要な語句（キーワード）を子どもたちから引き出し、まとめをする。

○学習カードを活用し、計算の方法や図形の操作などを式や図、文章で書き表す

計算問題では、答えを求めるだけではなく、どのように求めたのか道筋を文章で書かせたり、図形の問題では、面積を求める方法について、自分の考えを書き込んだり、子どもたち同士で見せ合いながら説明したりする時間を設ける。

○他教科と関連させて記述する習慣をつける

理科で実験の予想を立てる際に、自分がなぜその予想を立てたのか理由や根拠を書いたり、社会科で統計資料や教科書の内容を要点をおさえてまとめる機会を設ける。

○授業や家庭学習で視写をする時間を設ける

正解や大事な事は抑えているのに、どのようにして記述（表現）をすればよいかわからない児童は多い。そこで、例えば低学年では手本を視写する（真似して書く）ことから始め、型を身に付けさせていく。型がある程度身についたら、書き出しや文末の（型）のみを提示し、その中の文章を考え記述する。

2 ICT活用研修会

(1) GIGA端末活用研修会

- ・令和2年度より町内児童・生徒にICT端末を貸与。町内教職員を対象に研修会を開催。
- ・夏季、冬季の2回の開催
- ・教職員のニーズに幅広く対応するために複数のコースを用意

GIGA 音更町教育研究所

端末活用研修会

—大人も個別最適な学び & 協働的な学びを—

今回の研修会開催にあたり、町内教職員の皆様にご協力をお願いしました。QRコードから一人ずつ回答するスタイルでしたが、全体の約8割、252名から回答が頂きました。お忙しい中たくさんのお声、ありがとうございます。いただいたニーズに少しでも応えられるよう、今年度は1日で全9コマ（最大3コマ受講可能）の研修を用意しました。

今、教育現場では「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が求められています。それは我々教職員も同様と考え、このようなスタイルでの開催となりました。ご自身にあった研修を選択していただければ、きっと2学期からの実践につながる時間になります。また様々な学校との交流も刺激になるはずです。たくさんのお申込みを、所員一同心よりお待ちしております。

主催 音更町教育研究所

日程 7月25日（月）

時間 A 10:00～11:30
B 13:00～14:30
C 14:45～16:15

会場 音更町立木野東小学校

講師 中央コンピュータサービス 音更町教職員 音更町教育研究所員

申込 ・右のQRコードからお申し込みください。7月8日（金）締切
・終日参加を基本としますが、一部参加も可能です。

持物 ・chromebook（充電の確認を） ・上靴

その他 ・感染対策にご協力ください。
・天候によって、暑さ対策（服装・水分）をお願いします。
・昼食は会場内でも可能です。なおゴミは各自でお持ち帰りください。
・駐車スペースに限りがありますので、可能な限り乗り合わせてお越しください。
・11:45～12:45に協力員会議を開催します。参加の方には、昼食を準備しております。
・不明な点がございましたら、各校の研究員にお問い合わせください。



↑申込みはこちら！

【研修内容】

9:45～	【受付】 受付が завершиましたら、それぞれの会場教室にお越しください。		
10:00 ～ 11:30	<p>[A-1] googleアプリ 基本編</p> <p>「まだあまり使っていない」「奥動してきてよくわからない」そんな方向けの講座です。googleならではの仕組みや操作、アプリ「クラスルーム」「フォーム」「ジャムボード」「ミー」の使い方をから学びます。目標は、クラスルームで課題、テストの発信、そしてミーでのオンライン授業！</p> 	<p>[A-2] モラル教育の実践</p> <p>「活用」と同時に必要不可欠な、モラルに関する指導。どうすればよいか手探りの方向けの講座です。今日のような情報社会を生きていくには、情報社会に対応したモラルが必要です。そうしたモラルを身につけるための情報モラル教育には、情報社会の進展に対応した新しい要素も多く含まれていますが、その程度にあるのは伝統的なモラルや道徳であり、社会の上ま担い手としてあり方です。「守」を見つめながら、どのような指導ができるかを考えます。</p>	<p>[A-3] プログラミング 【マイクログリット&フォロ】</p> <p>micro:bitは、子ども向けのプログラミング教育用に作られたマイコンです。図形や文字が表示できる5割×5割(合計25個)の赤色LEDなどがあり、様々なプログラミングが可能です。今回は、「フォロ」とのコラボでより教育的な動きも体験できます。</p> 
11:40～12:45	【協力員会議】 2階音楽室へお集まりください。昼食後、交流会を行います。		
13:00 ～ 14:30	<p>[B-1] googleアプリ 実践編</p> <p>アプリの使い方はわかったけれど、授業でどう活用すればよいかわからない。そんな方向けの講座です。まずは、お互いの実践を交流し、情報交換、講師からもいくつか授業実践を紹介し、手にとってご覧ください。目標は、ここで得たスキルをもとに新たな授業アイデアを設計！「協働的な学び」をイメージした内容です。</p> 	<p>[B-2] 支援アプリ 基本編</p> <p>「ロイロノート」「Skyメニュー」「スマイルノート」、聞いたことのあるけれど...そんな方向けの基本編です。はじめ方から、主要な機能の使い方を中心にした講座です。また無料で使えるアプリもできる紹介もします。</p> 	<p>[B-3] プログラミング 【ドローン&スクラッチ】</p> <p>教育用に開発されたミニドローンです。プログラミングで動かすことができます（既に講習中）。今回は、体育館での操作も体験できます。また様々なプログラミングのモデルとなっているスクラッチについても学びます。</p> 
14:45 ～ 16:15	<p>[C-1] デジタル教科書</p> <p>教科用は、小中学校の主要5教科で使用できる環境です。そして児童生使用の導入も検討されています。「まだ使ったことがない」「機能がいろいろわからない」「一度時間をかけて学びたい」そんな方向けです。目標は、2学期からとりあえず使ってみる！</p> 	<p>[C-2] 支援アプリ 応用編</p> <p>ロイロノートを授業で使っているけれど、もっとできることはない？他の学校の実践を知りたい！という方向けの応用編です。シンキングツールや共有ノートなど応用機能を学びます。また、これまでの実践交流を通して、お互いのアイデアをいかした新たな授業設計を目指します。</p> 	<p>[C-3] プログラミング【レコ】</p> <p>レコ®エデュケーションSPRINT™ プログラムは、高学年から中学生の学習のために最適なSTEAM教材。子ども時代、レコで遊んだことがある方もない方も、ぜひ！組み立て作業もプログラミングもベースがあるので、非常に取り組みやすい！そこからオリジナルがどんな広がり、パターンは無限です。</p> 

* 申込み状況によって、講座内容・講座を変更する場合がありますので、ご承知おきください。

GIGA 音更町教育研究所 端末活用研修会

—大人も個別最適な学び&協働的な学びを—

今年度の夏季研修会は、9講座に200名を超える方が参加されました。今回は夏季研修会前後のアンケート結果をもとに、よりニーズにあった講座内容と、参加しやすい時間設定となっております。

まずは「ロイロノート」。すでにトライアルを活用している学校もありますが、「双方向授業」「思考の可視化」など、様々なメリットがあるアプリです。基本的な操作から、授業実践まで幅広く学べる講座です。

次に「googleアプリ」。なんと言っても、無料で使えることが一番。また、OS・端末を選ばないので、ずっと活かせるスキルになります。今回は、GEGTokachi (Google教育活用の研究団体) から講師を招いて、模擬授業スタイルの講座を用意しました。

最後に「プログラミング」。中央コンピュータサービス様に寄贈していただいたプログラミング教材の、授業実践を学びます。教材をまとめて貸出できますので、3学期に実践を考えている学校は、子どもたちと同じ立場で体験してみてください。

主催 音更町教育研究所

日程 12月27日(火)

時間 セクション1 … 13:00~14:00
セクション2 … 14:10~15:10
セクション3 … 15:20~16:20

会場 音更町立音更中学校



↑申込みはこちら↑

講師 中央コンピュータサービス GEG Tokachi 音更町教育研究所所員




申込 ・右上のQRコードからお申し込みください。11月30日(水)締切。
・終日参加を基本としますが、一部参加も可能です。

持物 ・chromebook (充電の確認を) ・上靴 ・講座に必要なもの(あれば、後日連絡)

その他 ・感染対策にご協力ください。
・駐車スペースに限りがありますので、可能な限り乗り合わせてお越しください。
・不明な点がありましたら、研究所員にお問い合わせください。

* 申込み状況によって、講座内容・講座を変更する場合がありますので、ご承知おきください。

【研修内容】

12:40~	【受付】 受付が終わりましたら、それぞれの会場教室にお越しください。		
13:00 ~ 14:00	<p>[A-1] ロイロノート シンキングツール編</p> <p>基本的な操作方法、使い方を全員で確認しながら、ロイロノートの特徴の一つである「共有」と「シンキングツール」を扱います。(今回は【ウォーキング】と【座標軸】を主に扱います。)</p> 	<p>[B-1] google×個別最適な学び</p> <p>模擬授業形式で行います。個別最適な学びを充実させる方法のひとつとして、googleアプリの活用方法を実践できる1コマです。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの課題を調剤 ・子どものペースで学習 ・子どもが自分で答え合わせ ・データの成績を管理 <p>など「はじめの一步」になるような実践を紹介しします。</p> 	<p>[C-1] プログラミング 【マイクロビット&フォロ】</p> <p>micro:bitは、子ども向けのプログラミング教育用に作られたマイコンです。図形や文字が表示できる8割×8割(合計64個)の赤色LEDがあり、様々なプログラミングが可能です。今回は、「フォロ」とのコースでより視覚的な動きも体験できます。</p> 
14:10 ~ 15:10	<p>[A-2] ロイロノート 反転授業編</p> <p>基本的な操作方法、使い方を全員で確認しながら、ロイロノートでできる「反転授業」の実践について扱います。</p> <p>【反転授業(反転学習)とは、授業前に動画教材などを利用して事前学習し、授業で意見交換をしたり学び合い教え合いをしたりする授業形式のことです。】</p> 	<p>[B-2] google×協働的な学び</p> <p>模擬授業形式で実施します。協働的な学びを充実させる方法のひとつとして、googleアプリの活用方法を実践できる1コマです。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ共有 ・協働制作 ・意見提出、共有、比較 <p>など「はじめの一步」になるような実践を紹介しします。</p> 	<p>[C-2] プログラミング 【ドローン&スクラッチ】</p> <p>教育用に開発されたミニドローンです。プログラミングで動かすことができます(現在調整中)。今回は、体育館での操作を体験できます。また様々なプログラミングのモデルとなっているスクラッチについても学びます。</p> 
15:20 ~ 16:20	<p>[A-3] ロイロノート 3学期の授業編</p> <p>基本的な操作方法、使い方を全員で確認しながら、ロイロノートでの授業づくりについて考えます。</p> <p>すぐに活用できるように、3学期に学習する単元や場面を想定して進めます。同じ学年の先生、同じ教科の先生が集まると心強いです。</p> 	<p>[B-3] google×3学期の学び</p> <p>3学期の授業づくりや、端末に関わる校内研修の準備に取り組みます。</p> <p>「教室アップ」「端末だからこそ」をキーワードに、googleアプリを中心とした端末活用を目指します。</p> <p>「ここで待ってみたい」という單元をイメージしていただき、指導資料も合わせてご持参ください。</p> <p>お一人で黙々と作成するもよし、複数でワイワイ話しながら考えるもよし、もちろん、できる限りのサポートさせていただきます。</p>	<p>[C-3] プログラミング【レゴ】</p> <p>レゴのエデュケーション SPIKE™ プライムは、高学年から中高生の学習のために最適なSTEAM教材。子ども時代、レゴで遊んだことがある方もない方も、ぜひ！組み立て作業もプログラミングもベースがあるので、非常に取り組みやすい！そこからオリジナルがどんどん広がり、パターンは無限です。</p> 

(2) ロイロノート活用研修会

- ・令和5年度より町内児童(小学校)に学習支援アプリ「ロイロノート」を導入。町内教職員を対象に研修会を開催。**
- ・教職員のニーズに幅広く対応するために複数のコースを用意**

音更町教育研究所主催

ロイロノート 活用研修会

—みんなで使おうロイロノート—

今回の研修会開催にあたり、市内の教職員の皆様にアンケートのご協力をお願いしました。お一人お一人にお答えいただくスタイルでしたが、多くの皆様からたくさんのお声をいただきました。今年度の研修会は、今年度より音更町の全小学校に導入されたクラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」が焦点化し行います。アンケートの結果をもとに「初級編」「中級編」「実践編」の3つのコースでそれぞれ2コマの講座を準備しました。

ぜひこの機会に皆さんでロイロノートの活用方法を学んで、2学期からのさらなる授業改革に生かしていきましょう！

主催 音更町教育研究所

日程 7月24日(月)

時間 A 14:00~15:00
B 15:15~16:15

会場 音更町立木野東小学校

講師 音更町教職員 ロイロ認定ティーチャー 音更町研究所員

申込 ・右のページのQRコードからお申込みください。7月12日(水)締切
・2コマ連続参加を基本としますが、一部参加も歓迎します。

持物 ・chromebook(充電を忘れず!) ・上靴 ・涼しい服装

その他 ・天候によって、暑さ対策(服装や飲み物)をお願いします。
・駐車スペースに限りがありますので、なるべく乗り合わせてお越しください。

【研修(講座)内容】

			
14:00 ~ 15:00	[A-1] 初級編 はじめてのロイロノート 講師：木野東小 ICT 部 異動されてきてまだほとんど使ったことのない方や、中学校の先生はぜひ！ カードの出し方や提出箱での共有、写真撮影などと一緒にロイロノートの使い方の基本を覚えましょう。 2学期の授業でも使いたくなること間違いなし！	[B-1] 中級編 シンキングツール 講師：富谷唯士(下音更小) 「ロイロノート」を授業で使い始めたけれど、あと一歩レベルアップしたい方向けの研修です。シンキングツールについての説明をし、実際にシンキングツールを使ったワークシートを作成してみます。一緒に授業で使えるシンキングツール探しをしてみませんか？ 持ち物：教科書	[C-1] 実践編 実践交流 この講座では、参加者皆さんでロイロを使った授業を交流してもらいます。他の学校の先生がどのように使っているのか、学び合いたいと思います。どんな実践でも構いませんので積極的な参加をお待ちしております！
休憩(15:00~15:15)			
15:15 ~ 16:15	[A-1] 初級編 授業で使おう 講師：木野東小 ICT 部 実際の授業での活用シーンを紹介しながら、どの場面でのどのようなことに使えるのか説明します。 後半には、実際に教科書を使って、ロイロを使った2学期以降の授業を考えてみましょう！ 持ち物：教科書	[B-2] 中級編 共有ノート 講師：大塚智博(鈴蘭小) 共有ノートを使うと、共同編集をすることができます。グループやクラスでアイデアを共有したり、ブレインストーミングなどに活用したりすることもできます。研修では、実践的で体験的な内容を予定しています。	[C-2] 実践編 目指せ認定ティーチャー 講師：伊倉大亮(音更小) ロイロノートには、認定ティーチャーという制度があります。市内の既に認定ティーチャーを取得した先生方にアドバイスをもらって、ロイロの授業作りを一緒にしませんか？ みんなでもっともっと高めて盛り上げていきましょう！ 持ち物：教科書

参加される方は右のQRコードから申し込んでください！

締切 7月12日(水)



(2) ロイロノート実践研修会

- ・授業でどのようにロイロノートを活用するか、授業公開を通して交流を深め、研修の機会とする**
- ・LEG(Loilo Educator Group)十勝と連携し、ロイロノートの活用について交流**

ロイロノート 実践研修会

SCHOOL

～授業で活用しようロイロノート～

2次案内

ロイロノート実践研修会へ参加される方に、実践研修1で公開する授業についてご案内いたします。
参加される方から、「ロイロノートを体験してみたい」というご要望がありました。そこで、本実践研修会終了後、LEG+勝主催の「ロイロノート体験会」を開催いたします。

参加を希望される方は、QRコードよりお申し込みください。当日は、パソコン・タブレットのご持参をお願いいたします。

参加 QR コード



締切 1月31日(水)

- 日時 令和6年2月9日(金) 13:25～15:30
(ロイロノート体験会 15:40～16:25)
- 会場 音更町立鈴蘭小学校
- 日程と実践研修1で公開する授業

13:00 13:25 14:10 14:30 15:30

受付	実践研修1	移動・休憩	実践研修2 (主な内容)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを活用した授業公開 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業とロイロノートの活用 ・実践レポートを活用した実践研修と協議 ・LEG+勝について



1年3組 国語	おもい出のアルバム
授業者 小室日向子	「伝えたいことを思い出して、文章を書いたり聞いたりしよう」
4年2組 算数	面積のはかり方と表し方
授業者 大宮 佳菜	「L字型の図形の面積の求め方を説明しよう」
5年2組 算数	変わり方調べ
授業者 松井 拓馬	「違って変わる2つの数量の関係を式に表し、説明しよう」

3 授業改革研修会

・令和4年度より町内教職員対象に「子どもが主語」(子どもが回す)の授業を目指して研修会を実施。外部講師を招いて実践を紹介していただいた

音更町教育研究所

「授業改革研修会」Ver.2

各校では、学習指導要領で求める「社会に開かれた教育課程」の実現、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組んでいます。中教審答申による「令和の日本型教育の構築」について理解の深化を図りながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、その具現化が今後一層求められます。

本研修会では、昨年に行っていた講師に平山純也氏(上朝内小学校教諭)をお迎えし、日常実践の動画を交え、「子ども」を主題にした授業改革に向けた独自の視点を紹介いただくことで、各校における授業力向上に資することを目的としています。

主催 音更町教育研究所

後援 音更町教育委員会

期日 10月12日(木)

14:00	14:15	15:45	16:00	16:10
開講式	授業改革研修会	質疑応答	閉講式	

会場 音更町立本野東小学校 第2音楽室

講師 音更町立上朝内小学校 教諭 平山 純也 氏

内容 講師による日常の授業実践の動画を交え、日々取り組んでいる授業改革に向けた独自の視点を紹介いただきます

対象 音更町内小中学校教諭(各校研修部1名の参加をお願いします)

申込 右のQRコードから、9月29日(金)までに
お申し込みください



申込みはこちら！

持ち物 ・ Chromebook (充電の確認を)
・ 上靴

その他 ・ 天候による暑さ対策(服装・水分)をお願いします
・ 駐車場は体育館玄関前のスペースを使用してください
・ 不明な点は、下土朝小教頭・竹本までお問い合わせください



音更町教育研究所

「授業改革研修会」

〈所長挨拶〉

各校では、学習指導要領で求める「社会に開かれた教育課程」の実現、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組んでいます。中教審答申による「令和の日本型教育の構築」について理解の深化を図りながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、その具現化が今後一層求められます。本研修会では、昨年に行ってきた、講師に平山純也氏(上朝内小学校教諭)をお迎えし、日常実践の動画を交え、「子ども」を主題にした授業改革に向けた独自の視点を紹介いただくことで、各校における授業力向上に資することを目的としています。ご理解のうえ、ご参加くださいますようお願いいたします。

音更町教育研究所 所長 野村 勉

〈申込み方法〉

- 以下の点をご確認ください。右記のQRコードからお申し込みください。
- ・ 各校研修部員1名ご参加ください
- ・ 研修会当日の撮影・録音はフリーですが、他者への転送や商用はご遠慮ください。
- ・ 研修内容等につきましては、各校で積極的に発信・啓発願います



申込み締め切り 9月29日(金) 16:30

〈当日の日程〉

14:00	14:15	15:45	16:00	16:10
開講式	授業改革研修会	質疑応答	閉講式	

〈会場・持ち物〉

会場 音更町立本野東小学校 第2音楽室
持ち物 Chromebook、上靴

〈お願い〉

- 天候による暑さ対策をお願いします
- 駐車場は体育館玄関前です

お問い合わせ先
音更町教育研究所 担当：副所長 竹本 良平(音更町立下土朝小学校)
TEL. 31-2020 E-MAIL. shimoshinoroshi@city.ofafukuoka.ac.jp

成果と課題

成果

- ・学力分析の考察や改善のポイントが町内小中学校の学力向上の方策の参考となっている
- ・学習でのICT利用率が高まり、ロイロノートなど学習支援アプリを使った学習が増加した
- ・子どもが主語の学習形態が少しずつではあるが、見られるようになった

課題

- ・学力については全道、全国に比べて低い水準となっている
- ・ICT機器は使えるようになったが、効果的な活用法については、研修の余地がある
- ・授業改革については一定程度進んだが、まだ教師が「教える」場面が多い学習形態が多く見られる

おわりに

今後も音更町の児童・生徒のために研究所
の活動を推進していきたい



ご清聴ありがとうございました